



## 10月の校長講話(みんなを大切にしよう)

前回の13号では、5年生のなかま集会の劇を通して、なかまについて皆で考えたことをお伝えしました。それを受けて10月15日(月)の全校朝会は、校長講話を行いました。1学期から全校で取り組んでいる6つの約束の中から、「みんなを大切にしよう」について全校で考えました。「みんなを大切にするとどうすればいいのかな」と投げかけると、「みんなに優しくする」「思いやりの心を持つ」などの意見が出ました。その後、こんなところに気を付けたらもっとみんなを大切にしたい、すばらしい土居小学校になっていくことについて、具体的場面を例にして皆で考えていきました。

<自分のものではないものを、相手に何も言わず触ったことはありませんか>

○体操服や水着に着替えるとき、自分のではない服に触ったり、違う場所に置いたりしたことはないですか。

○トイレに入るとき自分のシューズじゃないのに違う場所に移動させたことはありませんか。

された子はどんな気持ちになるでしょう。と問いかけました。「つらい思い、不安な思いをする」ことを皆で確認しました。つらい思いをする友達を作ることは、みんなを大切にすることにはつながらないこと、そんなことがないように、一人一人が気を付けることについて考えました。もし、ふざけてしてしまうことがあれば、決してしない。間違えて触ったときは、相手にしっかりと謝ることを確認しました。

<友達の名前を呼び捨てにしていますか>

名前は、家族が思いを込めて付けてくれた初めてのプレゼント、宝物です。仲が良いから呼び捨てというのは違うことを話しました。呼び捨てにされて、嫌だなと感じる子もいます。相手を大切にするためには呼び捨てにしないことが大切ですと伝えました。また、友達に強い口調で話したことはないかについても振り返ってみました。互いのことをよく知っている分、このくらい大丈夫と思ってしまいがちですが、「親しき中にも礼儀あり」のを言葉を付け加え、仲が良いからと遠慮なく言うことで相手を傷付けていることもあることを添えました。

全校での道徳の時間のように流れましたが、どの子も、しっかりと前を向いて、考えながら聞いていました。皆でより良い学校づくりについて考えることは大切だと感じる時間になりました。

今回話したことは、皆で実践していくため、4月に全家庭に配布した「土居小よいこのやくそく」に追記し再度配ること、校長先生のお話と「よいこの約束」を家庭で話題にして話し合うことを伝えています。ぜひご家庭で話し合ってください。



## 人権・同和教育参観日お世話になりました

本日は、人権・同和教育参観日も実施しました。休日にも関わらず、学校にお越しいただきありがとうございます。授業、講演会、学級懇談を通して、学校での取組を見ていただいたことに感謝しています。人権とは、皆が幸せに生きるために与えられた権利です。学校では、年間を通して人権・同和教育を様々な場面で捉えて行っています。学校で学んだことを家庭に広めていくことは、皆で幸せになろうとすることにつながっていきます。本日の参観日の内容についても、ご家庭の話題にしていただきませう重ねてお願いいたします。